

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	米子市立あかしや		
○保護者評価実施期間	2025 年 12月 15日		～ 2026 年 1月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 14
○従業員評価実施期間	2025 年 12月 15日		～ 2026 年 1月 9日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 3月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所等との交流など、地域の中で、他の子どもたちと活動する機会を持っています。	・近隣の保育所とは、日々連携を図り、互いに行き来して遊んでいます。また、運動会等の行事にも参加していただき、保護者の方にも交流の様子を知っていただく機会となっています。	・保育所の職員と、職員同士の交流の機会を増やし、活動の内容を一緒に立案したり、振り返り等を行いながら、交流での活動内容の充実を図ります。
2	・職員の資質の向上を図るため、研修を受講する機会や内部で研修を開催する機会を確保しています。	・一人ひとりの職員に必要な外部研修を受講する機会を設けています。また、受講後は受講した職員が園内で伝達研修を実施し、職員皆の学びとしています。	・オンライン研修も取り入れながら、できるだけ多くの職員が受講する機会を設け、職員の資質向上を図ります。
3	・児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。	・クラスを担当したすべての職員が、園児一人ひとりの支援の目標や支援の方法が分かるように提示し、皆が同じ支援を行えるようにしています。	・この取り組みを継続し、職員で共通理解し、目標に沿った支援が行えるよう取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長時間の支援について	・お子さんやご家族、併行通園先の保育所等への地域支援を行うために、職員の資質向上を図るための研修時間や、他機関との連携の機会を確保する必要があります。そのため、長時間の支援を行うには通常の支援提供時間に療育を行う職員に加えて、さらに人員を確保する必要があります。	・今後のサービス内容の向上・充実については、それにかかわる人材確保等の課題を踏まえながら、引き続き検討していきます。
2			
3			

事業所名 米子市立あかしや

公表日 2026年 3月31日
 利用児童数 2025年12月15日現在 24人 回答数 14人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	13	0	0	1	・限られたスペースを上手に使って確保 されていると思います。 ・広さ(1人に必要な)がわからないが、せ まいのではないかと思う。	・活動のスペースは基準を満たしてい ますが、活動内容によって保育室以外 のスペースを利用したり、戸外活動も 積極的に取り入れています。
	2 職員の配置数は適切であると思いま すか。	12	1	0	1	・年々、先生の数が減っているのかな？ と思いました。 ・パートが多いのではないか。1人(先生) に対して、保育士は、(常勤)の必要人数が わからないので、教えてほしい。 ・子ども一人に職員が1人ついてくださ るので、安心してあずけられます。 ・先生たちわいわいしているので親も安心 して預けられる。	・現在、国の基準を超えて、子ども2人 に対しておおむね1人の職員を配置し ています。 ・職員間で協力し合いながら、明るく 和やかな雰囲気の中で支援できるよ う努めています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構 造化された環境になっていると思いま すか。また、事業所の設備等は、障 害特性に応じて、バリアフリー化や情 報伝達等への配慮が適切になされて いると思いませんか。	12	0	1	1	・適切だと思います。 ・障害特性に応じてのバリアフリー化に ついてはよくわかりませんが、写真や 絵カードによる情報伝達は配慮され ている。 ・古い建物なので、トイレの段差とか があるので、バリアフリーではない。 ・個々人用の目印。不必要なものは 目隠しするなど配慮されている。	・トイレについては館内の多目的 トイレを活用しながらバリアフリー に対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過 ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合 合わせた空間になっていると思いま すか。	14	0	0	0	・毎日そうじをされているのを見か けるので、なっていると思います。 ・いつも清潔にいただいています。朝、 草取りや花壇の手入れまでありがと うございます。 ・毎日、きちんとおそうじされてい ると思います。 ・いつも清潔な匂いがする。(朝・夕 のそうじが行われている)	・子どもが安心して過ごせるよう、 清潔で安全な環境づくりを意識し、 日々の清掃を丁寧に行っています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こ どもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いま すか。	13	0	0	1	・とても理解してもらっていると思 いますが、まだ相談が必要かなと思 うところも正直あります。	・お子さんの特性に応じた支援を行 えるよう、多職種で連携を図ってい ます。お気づきのことがありましたら、 いつでもご相談ください。
	6 事業所が公表している支援プログラ ムは、事業所の提供する支援内容 と合っていると思いませんか。	14	0	0	0	・合っていると思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こ どもと保護者のニーズや課題が客 観的に分析された上で、児童発達 支援計画(個別支援計画)が作成 されていると思いませんか。	14	0	0	0	・思います。 ・半期に1度面談あり(結構長 く時間ととってくれる。申し 訳ない)	・面談や日々のやり取りを通して 保護者の方と情報共有を行い、共 通理解のもと、計画を作成する よう努めています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達 支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支 援」で示す支援内容からこ どもの支援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、具体的 な支援内容が設定されている と思いませんか。	14	0	0	0	・思います。	
	9 児童発達支援計画に沿った支 援が行われていると思いま すか。	14	0	0	0	・はい。	
	10 事業所の活動プログラムが固 定化されないよう工夫されて いると思いませんか。	9	1	0	3	・よくわかりません。 ・設備、配置(設置)に限界がある のでいたし方ない。	・活動内容を柔軟に工夫することが 重要である一方、子どもが見通し を持って安心して過ごせるよう、 1日の流れや活動の進め方など、 固定化しているものもあります。 繰り返し経験する中で理解や習 慣の定着を図り、安定した活動 参加につなげています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園 等との交流や、その他地域で他 のこどもと活動する機会があ りますか。	13	0	0	0	・はい。 ・運動会や生活発表会で交流して いる機会を見る事ができました。 ・近くの保育園との交流があ って、とてもうれしい。回数も 多く、運動会なども交流して もらえてうれしい。 ・彦名保育園さんとの交流あり。	・近隣の保育園、小学校との交 流を大切にしています。相互理 解を深め、子どもにとってより よい支援環境の構築に努めて います。
保 護	12 事業所を利用する際に、運 営規程、支援プログラム、利 用者負担等について丁寧な説 明がありましたか。	13	0	0	0	・はい。	
	13 「児童発達支援計画」を示 しながら、支援内容の説明 がなされましたか。	13	0	0	0	・はい。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。 ・参加させていただき、他のお母さんたちのお話を聞いたり 関わり方のアドバイスなどすごく勉強になりとてもいい家族支援だと思えます。 ・もう少しわかりやすい、さそい方をけんとして下さい。 ・ペアレントトレーニングの文書だけではわかりにくい。 ・ペアトレ参加させてもらいました。ありがとうございました。 ・保護者会マターな催しにも協力してもらっている。 	・子どもとの関わり方について、一緒に学ぶペアレントトレーニングを実施しています。案内の際は、分かりやすく工夫するよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。 ・ささいなことでも助言等をいただけてとても助かっています。 ・困りごとに対して、提案をもらって解決できている。日常のアドバイスなども適確である。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど共感的支援をしてもらっていると感じていますが、ちょっとなあ…と思うこともあります。 ・すごく寄りそってお話を聞いてくださり安心して何でも相談ができます。 ・いつもはげましてもらったり、ほめてくださったり、親に対しての心もケアしてくれるのでとてもうれしい。 ・とても熱いです。熱すぎて卒園が怖いです。こころえそう。 	・保護者の方の思いに丁寧に寄り添い、共感することを大切にしつつ、専門的な視点から適切な助言や支援につなげていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	11	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい同士の交流がよくわからないです。 ・少ない、ほぼない。きょうだいへの支援は、(1人っ子なのでわからないだけかもしれないが)どんなものがあるの？？しているのでしょうか？(きょうだいへの支援がない)のでは？何を米子市としてはやっているのか分からない。 ・あかしや縁日など(家族イベント) 	・あかしや縁日に、きょうだいを含めたご家族で参加していただきました。今後もきょうだいに参加していただく機会について検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか相談に対してこたえがもらえないこともあったと思います。 ・迅速である。 	・ご相談の内容を正確に把握し、関係職員で確認してからお伝えしたく、時間をいただく場合もございます。真摯に受け止め、引き続き迅速に対応できるよう努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・質問がよくわからない。 ・逆にこっちが抜けてたりして、いつもまんやで…と思う。 ・フォローしてもらって申し訳ない(こっちの都合のことなのに) 	・ご家庭と園の情報をつなぐため、連絡ノートやおたよりを活用しています。
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上ない位、子供たちの映像にはセンシティブだと感じる(こっちがNGがないからかもだが…) 	・子どもの写真等の使用については、保護者の方の同意のもと、プライバシーや安全を守るために配慮しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・人の個人的な話を送迎時に耳にしてしまうこともあるのでどちらともいえないにしました。 	・日常のやりとりの中でも、十分に配慮していきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練やマニュアルが掲示されているのは知っていますが、なかなかゆっくり見る時間がなく何もわかりません。 	・非常時の訓練については、園だよりもお知らせしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月してくれて、地震の時もスムーズにうごけたそうです。 	・1月の地震の際、職員も子どももスムーズに避難することができました。引き続き、しっかりと訓練に取り組んでいきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上ない位丁寧です。活動する以上何かしら発生してしまうものであるが、非常に申し訳ないといった態度で、逆にこっちが申し訳なく思う。 	・怪我等があった際は、迅速に保護者の方へ報告するよう徹底しています。安心してご利用いただけるよう、引き続きケガや事故の防止に努めます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の居場所であることは理解できている。 ・子供があかしやさんの事が大好きです。 	・安心して通える場所だと感じていただけていることに、大変うれしく思います。これからも、子どもたちが笑顔で通っていただけるよう、支援していきます。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい事があった次の日は、表情がいいです。 ・「どうだった？」と聞くと「楽しかった！」と帰ってきます。 ・とても楽しみに通園しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所であるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり時間が短い。働けない。〇〇市に住んでいた時は、8:30~18:00くらいまで預かってもらえるようなシステム？(みんながみんなではないです。保護者の仕事のためです。)でした。どうして、米子市は、できないのか？？とっても格差があると思うのですが、どのように考えておられますか？ ・支援は、充分満足している。時間について、もう少し子どもをみていただける時間を伸ばしてほしい。 ・大満足です。気軽に相談もでき、保護者にも寄り添ってもらっているよう心強いです。 ・おおむね満足している。何ごとにも限界はある。が、延長保育があると嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のサービス内容の向上・充実については、それにかかわる人材確保等の課題を踏まえながら、引き続き検討していきます。

このほか、次のようなご意見もいただきました。

- ・預かり時間が短く、入園をあきらめる人がいる。ここの所は、どう考えておられるのか。
- ・長年、いろいろな保護者から伝えられていると思うが、メドなどはないのか。バス1周して、時間を長くするのは、(預かり)助かるけど、良いのか？
- ・〇〇市と米子市とのサービスの差が大きいので、連携をとって差をうめられるように欲しい。(〇〇は、もっと差が大きいらしいです。)
- ・あかしや後15時までとして、それ以降、日中一時預かりとして預かれないのか。
- ・とても、預かってもらえて助かっています。難しいのは、よく分かっていますが、県内の格差も大きい(どっこも県は同じだと思う)ので、できれば、どっこも同じようなレベルになると良いなあと思っています。子どもたちもですが、親もとても心のケアをしてもらっていて、感謝しています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		米子市立あかしや		公表日		2026年 3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・基準を満たしており、活動内容によって、パーテーションを使用したり、棚を移動させたりして、必要なスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・国の基準を超えて配置していますが、安定した人員の確保が課題です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもに分かりやすいように写真カード等で予告をしたり、色分けや仕切りをしたりして工夫しています。	・設備等で経年劣化が見られる部分は、適宜、整備に努めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃や安全点検を行い、衛生管理や環境整備に努めています。 ・お子さんの活動に合わせたスペースを確保するために、遊戯室などを利用しながら必要なスペースを確保しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて空部屋や、医務室を使用し、個別で過ごせるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎月、目標設定と振り返りを行い多職種で参画しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の方の意見や要望を踏まえ、業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会やクラス会等を定期的実施し、意見を出し合い、業務改善を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者による外部評価は受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・どの職員にも研修受講の機会を設けています。外部研修を受講した職員は園内で研修を行い、職員皆の学びとなるようにしています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・多職種でニーズや課題を分析し、計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・乳幼児発達スケールを使い、日々の療育の記録、モニタリングを行って確認しています。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・クラス会等を実施し、担任をはじめ、チームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・子どもの様子に合わせてスモールステップで変化させるなど工夫をしていますが、見通しを持って安心して過ごせるよう、1日の流れや活動の進め方など、固定化しているものもあります。繰り返し経験する中で理解や習慣の定着を図り、安定した活動参加につなげています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・クラス会議等で振り返りを行い、よりよい支援につなげるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・互いの園を訪問し、情報共有と相互理解を図っています。	・併行通園先との支援のつながりや、地域の保育所等への移行に関する相互理解について、工夫が必要です。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・就学に際し、子どもの様子を見学していただいたり、相互理解を図っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○	・他のセンターの研修会に参加したり、自センターで研修会を開催するなど、質の向上に向けて取り組んでいます。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	・専門職の派遣事業を利用し、助言を受けています。 ・外部研修には積極的に参加しています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	△		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・近隣の保育園とは、日常的に互いに行き来して、こども同士の交流を図っています。 ・近隣の小学校とも、毎年交流しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		・日頃から、保護者の方の思いを聞き、懇談や家庭訪問を行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的懇談だけでなく、必要に応じて面談を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・きょうだい同士の交流行事は行っていませんが、きょうだいを含め、ご家族で参加していただける行事を実施しています。 ・保護者会主催の行事も、協力して実施しました。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談や申し入れについて、すぐに園内で報告・相談できる体制を整えており、迅速な対応に努めています。 ・相談の内容を正確に把握し、関係職員で確認するため、時間を要する場合もありますが、できる限り迅速に対応できるよう努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・情報発信は、主に園だより、クラスだより(メール配信や紙媒体)で行っています。 ・園内の感染症情報や緊急時には、メールでの一斉配信を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・日頃から、散歩の際にあいさつをする等、地域の方と接する機会があります。 ・随時、見学等を受け入れています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・月1回の非常災害訓練、救急対応訓練等を実施しています。 ・各種マニュアルについては玄関横に掲示しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、実地訓練、机上訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・必要に応じて医療受診の同行をして状況を確認し、子どもの状況について共通理解に努めています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書に基づいて、保護者、調理員、園長、担任、栄養士で確認しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・取組内容について、園だよりで周知しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事案後すぐに再発防止に向けて検討し、記録を全職員に回覧、報告しています。また、月1回ヒヤリハット検討会を行っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部研修に積極的に参加しています。研修受講後は、伝達研修を実施し、全職員の研修機会を確保しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束の必要性については、会議等において検討し、保護者の方に丁寧に説明し、同意を得ています。あわせて、解除に向けた検討も行っていきます。